

審判判定基準 (図解)



$0 \leq \text{注意1} \leq \text{注意2} \leq \text{注意3} > \text{注意4}$	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
$0 > \text{又は} = \text{注意2}$	注意差2の時は基本的に負けだが、8：2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
$0 > \text{注意3}$	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである
$0 > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格
$\text{注意1} > \text{又は} = \text{注意3}$	注意差が2なので基本的に負けだが、8：2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
$\text{注意1} > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格なので相殺されない
$\text{注意2} > \text{注意4}$	注意4になった時点で失格

$0 < \text{技有} + \text{注意1} \leq \text{技有} + \text{注意2} \leq \text{技有} + \text{注意3} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
$0 < \text{技有} + \text{注意2}$	注意差2でも技有りがあるので勝ちである
$0 < \text{又は} = \text{技有} + \text{注意3}$	技有りにより基本的に勝ちだが、8：2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では勝ち。
$0 > \text{技有} + \text{注意4}$	技有りがあっても注意4になった時点で失格
$\text{技有} + \text{注意1} > \text{又は} = \text{技有} + \text{注意3}$	注意差が2なので基本的に負けだが、8：2以上の試合内容で引き分けとする。但し最終延長では負け。
$\text{技有} + \text{注意1} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意4になった時点で失格
$\text{技有} + \text{注意2} > \text{技有} + \text{注意4}$	注意4になった時点で失格